

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

 (29) 他事業職員との連携によるメイン強化先同行訪問の取組み
JAバンク鳥取 (鳥取県)

新規	継続
	○
	(平成 22 年 4 月)

1 動機(経緯)	<p>農業者の規模・経営形態・金融ニーズは多様化しており、そのニーズを的確に捉え、より専門的で高度な農業金融サービスの提供や相談対応等が必要となっています。</p> <p>このような農業情勢を踏まえ、JAグループの総合事業体としての強みをフルに発揮し、担い手経営体との信頼関係の構築、担い手経営体の利用率向上を図る取組みが急務となっています。</p>
2 概要	<p>将来的な地域農業の担い手として関係を強化・再構築すべき農業者を「メイン強化先」と位置付け、信連農業金融センター職員およびJA金融担当職員が主体となり、営農部門職員(TAC、営農センター)との同行訪問を実施することで、担い手農家の資金ニーズに加え、営農事業を含めた総合的なニーズ(営農技術の向上、JA他部門への意見・要望等)を的確に把握し対応しています。</p> <p>訪問内容にあたっては、「メイン強化先管理簿」を信連農業金融センター職員およびJA金融担当職員が作成し、当該JAの支所(店)および営農部門との情報共有を図るとともに、年2回の実績検討会(信連とJAの金融・営農部門合同)にて訪問実績の報告、今後の対応・方針等を検討しています。</p>
3 成果(効果)	<p>1 営農部門職員(TAC・営農センター)との連携による訪問活動を通じ、担い手の様々な資金ニーズに対応しました。</p> <p>2 JA毎に年2回の実績検討会(金融・営農部門合同)を開催しており、訪問状況および訪問先のJAに対する意見・要望等を共有することで、JA内での共通認識をもって資金対応および営農指導が図られています。</p>
4 今後の予定	<p>1 金融・営農部門職員(TAC、営農センター)での同行訪問を継続し、担い手農家の資金ニーズに加え、営農を含めた総合的なニーズ(営農技術の向上、JA他部門への意見・要望等)に対応します。</p> <p>2 営農部門等に対する取組説明(農業メインバンク機能強化の取組みの重要性、JA内事業関連連携の必要性等)を継続することで、農業メインバンク機能強化に対する意識醸成、連携体制を強化します。</p> <p>3 農業融資に関する知識習得を目的に、JA融資担当職員に対する県域集合研修「農業融資研修会」の開催や、担い手への対応力強化のため「担い手金融リーダー会議」を予定しています(各1回/年)。</p>